

2015年4月28日

先端理工学専攻 各位

先端理工学専攻 大学院ゼミナールのご案内

主任：原田 融

世話人：川口雅之

今回は特別講義として、固体核磁気共鳴法（NMR）と材料科学への応用についての講演を下記のように後藤和馬先生にお願いしました。後藤先生は、NMRを用いて固体中の成分の化学状態を解析する手法を確立し、注目を集めている若手研究者です。例えば、これまでに二次電池負極に使われる炭素材料に挿入されたアルカリ金属の状態について精密に解析することに成功しています。本講義では、固体 NMR の基礎的な原理を解説して下さり、その後、炭素材料や電池材料に対する適用例や材料開発への応用などについて紹介して下さいます。その分野の知識がなくても、分かりやすく、また最新のトピックスをお話しいただけると幸いです。たくさんの方の御出席を期待しています。

なお、大学院生は必修ですので必ず出席してください。

記

1. 日時：2015年5月12日（火）17:00～18:30
2. 場所：J-514
3. 講師：後藤和馬先生（岡山大学大学院自然科学研究科・助教）
4. 題目：固体核磁気共鳴法と材料科学への応用

【要旨】 固体を対象とする核磁気共鳴（NMR）は一般的な溶液 NMR と趣は異なるが、固体材料中の特有の核種のみを選択的に非破壊で分析するのに極めて有効な手法である。本講義では固体 NMR の基礎的な原理を解説するとともに、炭素材料や電池材料への適用例を紹介する。材料内部に存在する目的核種の状態を分析・把握することがどのようにその後のものづくり（材料開発）に役立つことになるのか、具体例を挙げながら解説する。

以上